

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書①

【ふるさと納税業務委託 事業】 記入日 令和 5 年 10 月 16 日

基本情報(A・B)

A) 施策、根拠法令等

担当部署	部	企画財政部	課	企画政策課	係	政策推進担当	
基本施策	行財政運営				事業種別	市単独業務	
					継続・新規	継続して実施している事業	
分野別施策	行財政 - 1 行財政運営、行政改革【重要施策】				事業予算額		
	-				10,261 千円		
展開方向	<input type="checkbox"/> 市民サービスの質の向上と効果的・効率的な行財政運営の推進				予算科目	会計	一般会計
	<input checked="" type="checkbox"/> より一層の行政改革の推進					款	2 総務費
	<input type="checkbox"/> デジタル化の推進					項	1 総務管理費
根拠法令等 (あれば)	地方税法第37条の2				目	7 企画費	
					事業番号		1

B) 事業内容・対象

市の魅力向上に寄与する事業	<input type="radio"/>	人口減少抑制に寄与する事業	<input type="radio"/>
事業概要 (何をやる事業か)	ふるさと納税サイトを活用し、当市にふるさと納税を行った方に対する返礼品を贈呈し、市の認知度向上を図るとともに、市内事業者の魅力ある商品を返礼品として当該サイトに掲載することで、市内産業の振興及び市の魅力向上並びに寄附額の増を図る。令和5年度から新たに、職員が行ってきた事務を事業者へ委託し、返礼品の更なる拡充及び業務の効率化を図る。		
事業の対象	当市にゆかりのある方、当市を応援したい方等		

現年度(令和5年度)に実施中の事業について(C・D・E・F)

C) 目標・目指す状態 ※市民意識調査の結果を目標値にはできません(施策評価の目標であるため)。			
※「〇〇意識を高める」「理解を深める」等といった成果が測れないものは不可とします。必ず効果が数値化できる目標にしてください。			
	目標・目指す状態	単位	目標数値
①	一般寄附による歳入額(令和5年度一般寄附歳入見込額 変電所寄附を除く。)	円	36,200,000
②			
③			

D) 前年度と変更した点がありますか? ※事業の実施を経て、見直し、解決すべきだと考えたことを元に変更した点		
<input checked="" type="checkbox"/> 有	変更した点→	令和5年度からふるさと納税業務委託事業者と契約し、業務の効率化を図る。
<input type="checkbox"/> 無	無の理由→	

E) 見直し状況 ※変更(見直し)については、どの程度進んでいますか
令和5年4月に委託事業者と契約を締結し、7月から業務委託を開始した。

F) 令和5年度中の進捗状況(予定含む) ※進捗状況はなるべく時系列に沿って記入してください。		
①	4月	Scale-UP(株)とふるさと納税業務委託契約締結【新規】(7月から業務委託開始)
②	4月	(株)トラストバンクとふるさと納税do(SCMサービス、寄附受領証明書発送BPOサービス、ワンストップ特例受付BPOサービス)の利用契約締結【新規】
③	4月	(株)シフトセブンコンサルティングとオンラインワンストップ申請受付サービス利用契約の締結【新規】
④	4月	楽天グループ(株)と楽天ふるさと納税(寄附受付サイト)利用契約締結【新規】(9月からサイト公開開始)
⑤	4月	(株)トラストバンク、(株)ユニメディアとふるさとチョイス、ふるさとプレミアムの利用契約締結(更新)
⑥	7月	返礼品協力事業者と覚書締結。
⑦	9月	Scale-UP(株)による返礼品リーフレットの作成。
⑧	【参考】	市内の複数事業者と新規返礼品登録に向けた調整を開始

令和5年度ふるさと納税 寄附額(～9月まで)

単位:件、円

月	寄附件数 A	一般寄附額 (変電所寄附を除く) B	1人あたりの平均寄付額 B/A
4月	8	425,100	53,138
5月	16	1,204,774	75,298
6月	12	369,725	30,810
7月	22	708,300	32,195
8月	54	1,336,199	24,744
9月	49	5,775,000	117,857
合計	161	9,819,098	60,988

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書②

【 ふるさと納税業務委託 事業】 記入日 令和 6 年 3 月 31 日

実績報告・事業分析

A) リアタイ評価会議での意見・助言等

- ① 当市のふるさと納税は、地方都市が実施するふるさと納税の意味とは違った立場であることを踏まえるべきである。
- ② 目標設定については、交付税措置が75%あるため、残り25%の経費を回収できる程度の収入を見込めば良いのでは。
- ③ 返礼品の開拓の他、「サービス」による返礼についても引き続き検討してもらいたい。（サービス返礼品が既にあることは承知済）
- ④ 粉ミルク等、消費される返礼品が人気のため、サブスクを検討してもらいたい。
- ⑤ 対市民にも当市のふるさと納税について、PR・周知を図ることで、市民の市外の知り合いへ周知が広まる可能性がある。

B) 上記意見を受けて、対応したものと 及び 参考としたもの

現在、粉ミルクの定期便導入に向けて、委託事業者と規格等の調整を行っているところである。今後、庁内関係課と調整し導入する予定である。また、市民に対して当市のふるさと納税の周知を図るため、令和5年12月1日号市報でふるさと納税に関する記事の掲載を行った。

C) R5年度の実績（事業の実績を示す数値 又は 事業の目標としたものの結果） ※市民意識調査の結果は不可とします。

実績の説明	単位	目標値	R5実績値	【参考】R4実績値
① ふるさと納税寄附額	円	35,000,000	19,343,360	12,654,115
②				
③				

数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由を記載してください）

数値結果がない理由

R5実績は 去年と比べて	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 例年通り <input type="checkbox"/> 低下した <input type="checkbox"/> その他	左記とした理由 又は 分析等（向上・低下した要因等）： 令和5年度新たな寄附受付サイトとして「楽天ふるさと納税」の利用を開始したため、同サイトを經由した寄附が増加した。
-----------------	--	---

D) 分析（令和5年度の実績を踏まえて）

↓該当する1つに○をつけてください↓

①この事業の有効性は 費用対効果（コスパ）、執行体制の状況、手法として最適か 等	<input type="radio"/>	高かった	<input type="radio"/>	普通だった	<input type="radio"/>	低かった
①の理由：令和5年度から新たにふるさと納税業務委託事業者と契約したことで、これまで市職員及び返礼品協力事業者が行っていた業務を、委託事業者に委託して実施したため、市職員及び返礼品協力事業者の事務負担軽減が図られた。また、委託事業者による新規の寄附受付サイト「楽天ふるさと納税」の構築により、楽天ふるさと納税経由の寄附額が増加した。						
②この事業に対する市民のニーズ、反応は 市民の反応等を踏まえて回答してください。	<input type="radio"/>	高かった (良かった)	<input type="radio"/>	普通であった	<input type="radio"/>	低かった
②の説明：令和4年度と比較して寄附額が向上したことから、市民（寄附者）のニーズは高かったと考えられる。						
③この事業における市民協働・共創の余地は ※「市民協働」及び「共創」については別紙1をご確認ください。	<input type="radio"/>	多くの余地がある	<input type="radio"/>	余地がある	<input type="radio"/>	余地がない
③の説明：この事業は、市内の返礼品協力事業者と協力することで、より良い返礼品の開発等を行うことが可能な事業であることから市民協働・共創の余地がある。						
④この事業が今後市の類似事業と統合・再構築できるか ※市で行っている類似の事業がある場合のみ回答	<input type="radio"/>	可能である	<input type="radio"/>	検討の余地がある	<input type="radio"/>	不可能である
④の説明：						
⑤近隣市の類似事業と比較して充実している事業か ※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答	<input type="radio"/>	他市より充実している	<input type="radio"/>	他市と同程度	<input type="radio"/>	他市の方が充実
⑤の説明：寄附受付サイトの数及び委託事業者への業務委託内容等については、他市と同程度である。一方寄附額は、市内特産品の有無等により大きく異なるため、一概に比較することは困難である。						
⑥東大和市独自の個性を出している事業か	<input type="radio"/>	市の特長、個性を出せる事業である	<input type="radio"/>	他市と同程度 個性はない		
⑥の説明：返礼品に市内事業者によるオリジナル商品を登録することで、市の独自性を出すことができる事業であることから、今後も市内事業者及び新規返礼品の掘り起こしを行っていく必要がある。						

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書③

【ふるさと納税業務委託

事業】

記入日 令和 6 年 3 月 31 日

反省・今後の方向性

A) 来年度以降の課題や見直すべき点		※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。
①	令和5年10月から、総務省による新規返礼品登録時の確認が必要になったことに伴い、新規返礼品の登録にこれまで以上に時間を要するようになった。このため、総務省による確認期間も加味した上で新規返礼品の登録を行う必要がある。	
②	委託事業者による新規返礼品の開拓及び登録に時間を要したため、今後はこれまで以上に市職員が進捗状況管理を行う必要がある。	

B) 来年（令和6年度）の取組予定		※事務予定または、改善事項を記入してください。
①	新たな寄附受付サイト「ふるなび」の利用を開始し、寄附額の増加を図る。	
②	粉ミルクの定期便の導入に向けた調整。	
③	新たな返礼品の拡充を行う。	
④		
⑤		

C) 上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等		※記入日時点で必要と考えられる準備事務について記入。
①	令和6年4月1日付けで㈱アイモバイルと「ふるなび」利用に関する契約を締結。	
②	令和6年4月中旬に㈱アイモバイルを指定納付受託者として指定。	
③	令和6年6月末までにふるなびのサイトを構築。	
④	令和6年度委託事業者契約仕様書に定期便に関する内容を追加。	
⑤	財政課及び会計課と定期便に関する予算執行方法について協議。	
⑥	返礼品の拡充を図るため、随時新規返礼品協力事業者の開拓及び返礼品の開発を実施。	

事業コスト

(令和6年 3 月 27 日 時点)

予算科目	款	項	目	2	1	6	事業番号	3	予算名称
									財産管理事務費（令和6年度から管財課予算に移行）

R5予算額及び決算額

※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。

単位：円

R5予算額		R5決算額(暫定)		【参考】R4決算額	
事業費合計	16,997,000	事業費合計	6,191,871	事業費合計	3,472,141
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
7 報償費	1,750,000	7 報償費	277,500	7 報償費	2,747,500
10 需用費	5,000	10 需用費	0	10 需用費	61,325
11 役務費	4,382,000	11 役務費	831,240	11 役務費	663,316
12 委託費	10,804,000	12 委託費	5,078,676		
13 使用料及び賃借料	56,000	13 使用料及び賃借料	4,455		
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	16,997,000	一般	6,191,871	一般	3,472,141
国	0	国	0	国	0
都	0	都	0	都	0
市債	0	市債	0	市債	0
その他	0	その他	0	その他	0